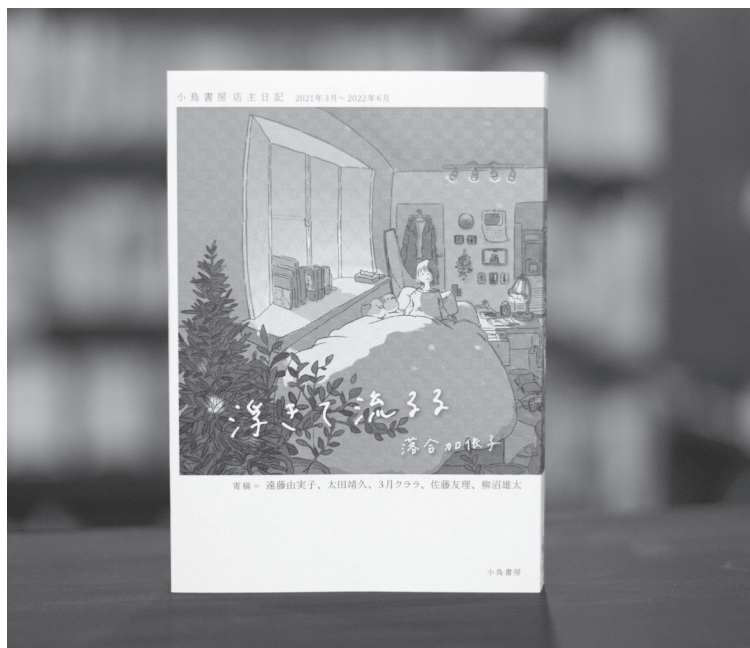


並製（雁垂れ製本）、B6変形（173×123mm）、286ページ
ISBN978-4-908582-10-3 定価：1,400円（税込）



落合加依子 著

12月3日発売

小鳥書房 店主日記 2021年3月～2022年6月

浮きて流るる



東京郊外・谷保の古い商店街の一角にある
ちいさな出版社・本屋の30代の女性店主が綴る切実な日々。
離婚、家族の病気、本屋の苦難…いいこともよくないことも心の動くままに書き連ねた1年半分の日記を前半に、後半には「日記とはなにか」をテーマに、5名の寄稿文を掲載。

著者プロフィール | 落合加依子（おちあい・かよこ）
名古屋市に生まれる。大学卒業後、童話作家になりたくて上京し、専門学校に入学するも学校があわずに一年で退学。児童書の編集プロダクションにひろってもらったことがきっかけで編集者という仕事の魅力に取り憑かれ、だれかの思いに伴走することを自分の生き方だと決める。セブン&アイ出版に転職して働いていた2015年、地域に開いたシェアハウス「コトナハウス」と、出版社「小鳥書房」を東京・国立市谷保のダイヤ街商店街に立ち上げる。2019年、町のひとたちに恩返しをしたくて小鳥書房の本屋を開店。結婚したり離婚したり、うれしかったり落ち込んだりしながら、町とともにある暮らしと仕事を大満喫している。

寄稿＝
遠藤由実子（小説家）
太田靖久（小説家・ODD ZINE 主宰）
3月クララ（文芸ユニット「るるるん」）
佐藤友理（ZINE「まどをあける」主宰）
柳沼雄太（書肆海と夕焼店主）

ご注文 FAX **03-3291-2356** (弘正堂図書販売)

弘正堂から、書店様がふだんお使いの取次を経由して、本をお届けいたします。直取引・内容については小鳥書房までお問い合わせください。

担当者：			
書店様印		新刊	『浮きて流るる 小鳥書房店主日記 2021年3月～2022年6月』 定価 1,400円（税込） ISBN978-4-908582-10-3
	冊	世界一身近な文学賞 12話の「とり」にまつわる短編	『本屋夜話 「小鳥書房文学賞」詞華集』 定価 1,540円（税込） ISBN 978-4-908582-08-0
	冊	現在3刷・「広島本大賞 2018」受賞！ 「ばっちゃん」の料理詩集	中本 忠子 著 『ちゃんと食べとる？』 定価 1,540円（税込） ISBN 978-4-908582-01-1